

にゅー 柔ワイヤ工法[®]

施工要領書

セット内容			
柔ワイヤ固定金具/8個	柔ワイヤ引留金具/2個	テンションバネ/2個	柔ワイヤロープ/2個
			

コード : 290101101

この度は、お買上げ頂き、誠にありがとうございます。

■安全上のご注意

- ・施工要領書には、商品を安全に正しくお使い頂くために、重要な内容を記載しております。必ず、内容をご確認の上、取扱いをお願いいたします。

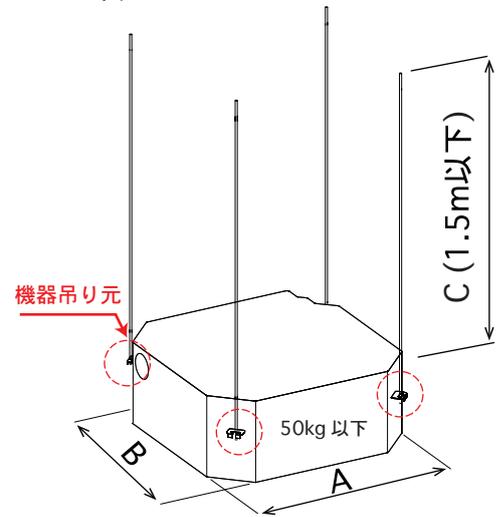
日栄インテック株式会社



施工時、ご使用上の注意

- 本来の使用目的以外での使用はご遠慮下さい。
- 同梱されている商品以外は使用しないで下さい。
性能が十分に発揮されない場合があります。
- 使用される機器サイズと重量を必ずご確認ください。図1参照
(A辺B辺C辺合計3.5m以下 重量50kg以下の機器にご使用下さい。)
- 吊り高さ1.5m以下でご使用下さい。図1参照
- ワイヤに鋭利な角を当てないで下さい。
- 柔ワイヤ引留金具に強いテンションがかかると
ロック解除できません。
- ワイヤには、油やペイント等つけないで下さい。
(摩擦力等、十分な効果を発揮できません。)
- ワイヤの切断は、ワイヤカッターを使用して下さい。
- 防振ハンガーを使用する場合、防振ハンガーを
機器吊り元側に取付けてください。図1参照
- 上下2連以上の工法のご使用はご遠慮下さい。
- 商品の再利用はできません。
- 機器の交換時には、柔ワイヤセットを交換してください。

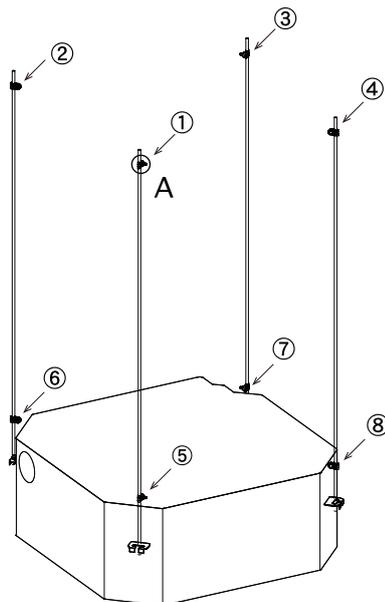
図1



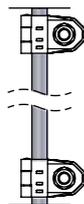
施工方法

手順①

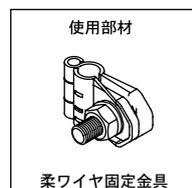
柔ワイヤ固定金具を吊りボルトの四隅※注意1に工具等で締結します。※推奨締め付けトルク15N/m



注意1 際まで



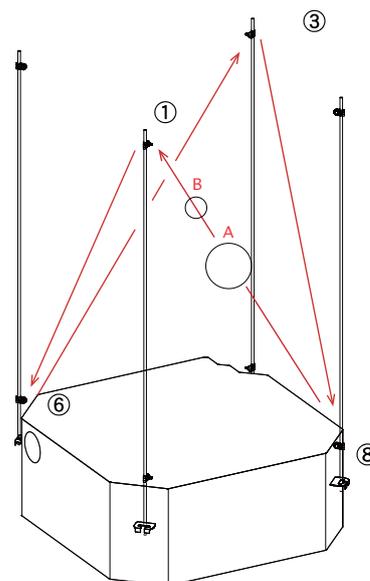
際まで



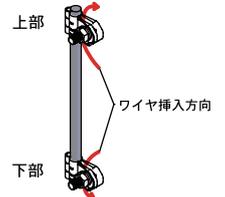
手順②

柔ワイヤ固定金具に柔ワイヤロープを①⑥③⑧の順番に取付けます。

※注意1・原則、上部金具は下から挿入、下部金具は上から挿入して下さい。
※A・ワイヤ結束部
※B・テンションバネ取付け部



注意1

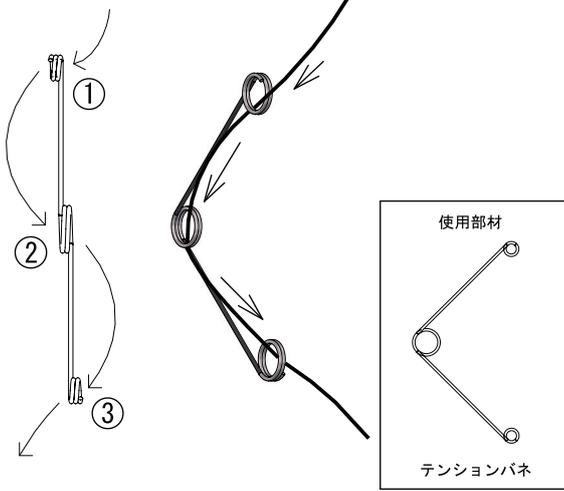


手順③ (テンションバネ取付け)

手順②B部にテンションバネを取付けます。

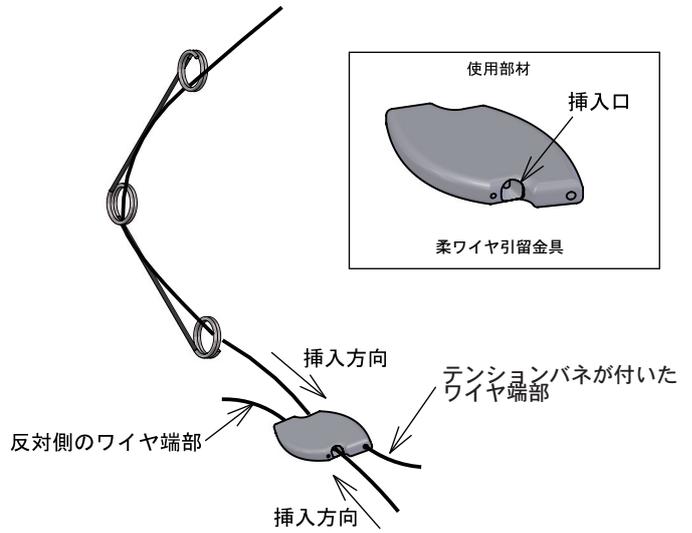
※ワイヤ端部から200mm程度の位置に取付けて下さい。

ワイヤ取付手順



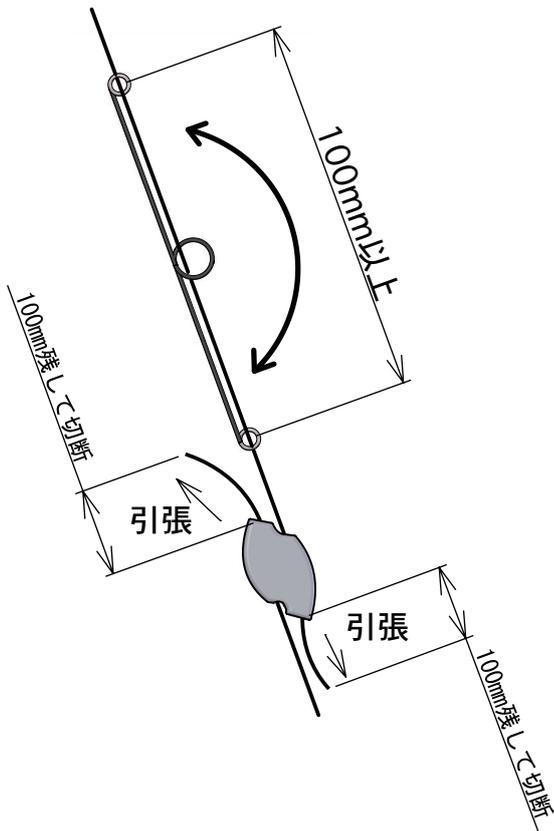
手順④ (柔ワイヤロープの結束)

柔ワイヤ固定金具にテンションバネの付いたワイヤ端部と反対側のワイヤを通し固定します。



手順⑤

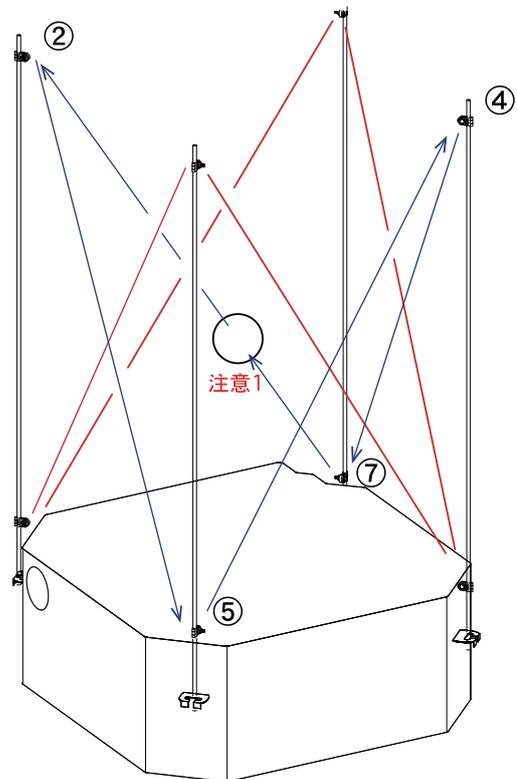
柔ワイヤ引留金具に取り付けているワイヤ端部を引張り、テンションバネ端部が100mm以上開くまでテンションを掛けて下さい。



手順⑥

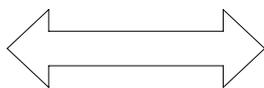
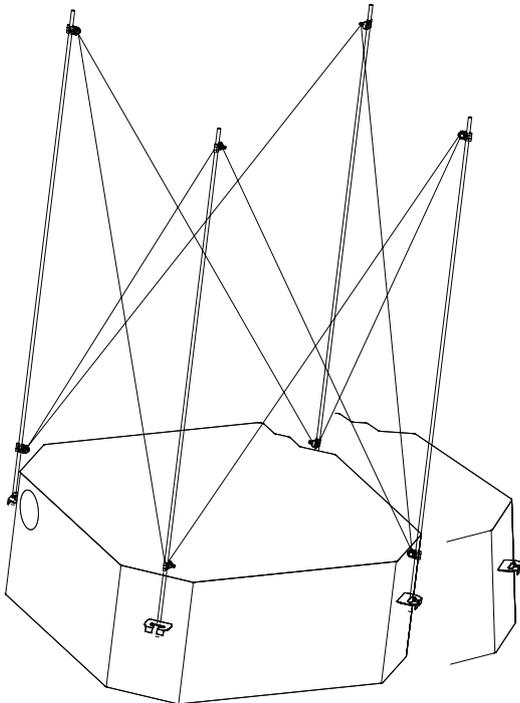
柔ワイヤ固定金具に2本目の柔ワイヤロープを手順②③④⑤同様に②⑤④⑦の順で取付けます。

※注意1・手順②のワイヤ締結部の対面に2本目の締結部が来るように取付けて下さい。



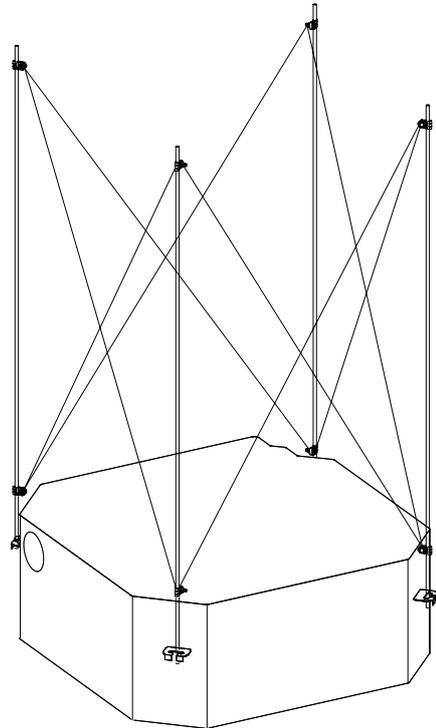
手順⑦

吊り機器を揺らし、テンションをワイヤ全体に行き渡らせます。テンションバネが曲がった場合、再度100mm以上開くまでテンションを掛けて下さい。

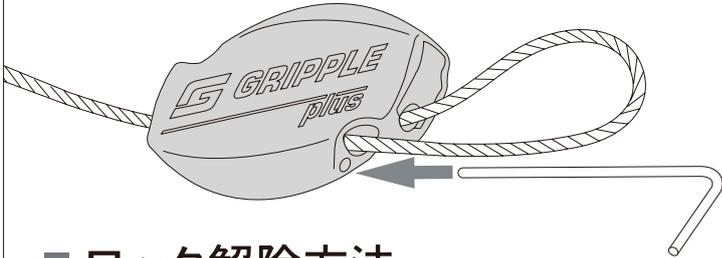


手順⑧

各部ガタツキや柔ワイヤロープ、吊りボルトのたわみ等が無いことを必ずご確認下さい。切断した端部ワイヤがバタつく場合はテープ等で固定して下さい。



施工完了



■ ロック解除方法

セッティングキーを本体のキー穴に挿入し、押しながらワイヤを引き戻します。
※ワイヤに強いテンションがかかるとロック解除はできません。

The diagram shows a close-up of a lock mechanism. It is a grey, oval-shaped device with a keyhole on the side. A wire is inserted into the keyhole. A key is shown being inserted into the keyhole. An arrow points to the keyhole, and another arrow points to the wire being pulled back. The device is labeled "G GRIPPLE plus".